

本部かわら版

発行責任者
神奈川県隊友会
事務局 宮崎栄介



会務報告

県隊友会事務局

本年3月発行のかわら版(47号)以降、
県隊友会としては次のような事業を実施
しました。

1 年度末報告等の作成及び監査受検

(4月8日 県事務所)

2 第1四半期県理事役会(5月14日
地本試験室)

3 定期総会(代議員会)(6月10日労プラ)
次の議案が審議され原案どおり可決されま
した。

これらの議案の細部は県隊友会ホームペ
ージ「総会・理事役会」に掲載しております
でご覧下さい。

第1号議案①令和4年度事業報告

②令和4年度決算報告

(令和4年度業務・会計監査報告)

第2号議案①令和5年度事業計画

②令和5年度予算

第3号議案①令和5年度理事役・監事役

②令和5年度代議員

(1) 第2号議案①で承認された令和5年度
県隊友会事業計画のうち、当面の計画事
項は次のとおりです。

・本部定時総会等への参加(会長)

(6月22・23日、市ヶ谷)

・第一回安全防災部会

(7月1日 地本試験室)

・地域代表世話人会

(7月下旬 地本試験室)

・九都県市総合防災訓練

(9月初旬横浜・川崎・相模原)

・第2四半期県理事役会(9月9日)

・関東甲信越静ブロック研修会

(10月5・6日 横須賀)

・ピックレスキューかながわ

(10月15日大井町・ピオトピア)

(2) 第3号議案で承認された、新理事役、
新代議員及び監事役は次のとおり。

・県本部推薦の理事役(2名)

久保内 修一(横須賀)

大津 雅紀(横浜南)

・支部推薦の理事役(3名)

安達 彰(川崎)

小見山 雅(湘南)

杉山 文俊(横須賀)

・代議員(9名)

久保内 修一(県本部推薦)

安達 彰・内田 豊(川崎)

在原 真次・新井 崇裕(県北)

高鹿 治雄・西村 剛(湘南)

片山 孝男・平戸 鉄郎(横須賀)

4 三団体合同防衛講演会・懇親会

(6月10日 労プラ)



三団体合同防衛講演会及び懇親会

6月10日、神奈川県労働プラザにおいて令和
5年度県隊友会総会の後、自衛隊神奈川県家族
及び神奈川県郷友会の三団体合同で、防衛講演会
を実施しました。

防衛講演会は、「我が国の安全保障とその課題」
と題して元統合幕僚長 河野 克俊氏の講演で、
160名以上が聴講しました。国際社会がウクラ
イナとロシアの戦争にふりまわされているなか、
我が国の安全保障について時宜にかなった内容
で瞬く間に予定の時間が過ぎ去りました。

また、防衛講演会に引き続き懇親会を実施し、
山本たかひろ衆議院議員、三谷英弘衆議院議員、
浅尾慶一郎参議院議員、現役自衛官では、海自横
須賀地方総監乾 悦久海将ほか多数の来賓を迎え、
松岡隊友会会長の挨拶、中條家族会会長乾杯の音
頭で和やかに進行し、金子郷友会会長の関東の一
本気で隊友会、家族会、郷友会の連携を確認し盛
大なうちにお開きとなりました。

(事務局)



講師 河野克俊氏



懇親会 懇談情景



懇親会 松岡会長挨拶



講演会 情景



「一病息災に過す」

県隊友会会長 松岡貞義



先日私の同期生が脳梗塞に見舞われた。彼が退院後に同期のグループメールに発症時の経緯を投稿した。それによると、彼は、奥さんと一緒に朝食をとっていた時に、飲んでいた牛乳をテーブルに溢したので拭こう

としたら手が動かない、おかしいと感じて立ち上がろうとしたら、足に力が入らずそのまま椅子から転げ、手足に力が入らず、奥さんが話しかけているのに舌が動かさず返事すらもできなかった。意識はあったそつだが何も出来ず、そこで初めて脳梗塞と気づいた。その後、奥さんが救急車を呼び病院に向かい、カテーテルで血栓を取り除き、翌日には手足も徐々に動くようになり、三週間の入院治療、リハビリを経て無事退院出来た。彼は、あの時に自分で救急車を呼ぶことなど無理であり、側に奥さんがいたお陰であったと述懐している。確かに発症後の処置が遅れていれば、重い後遺症が残ったと思われる。彼は、日頃から健康には気を使い、高血圧と高脂血症予防の薬を服用しており、昨年の脳ドック検診でも異常はなく、それらしい予兆もなかったそつである。まさに脳梗塞は突然に発症する。彼の発症の経緯を知り、前期高齢者の自分にも発症の危険があることを自覚するとともに、改めて家内を大切にしなければと思った。

「一病息災」という格言があります。その意味するところは、「体が健康で、具合の悪いところはまったくないという人より、一つくらい具合の悪いところがあった人のほうが、健康に気をつける

ので、長生きをする」ということです。私も例に漏れず一病息災の一人である。今から十数年前に某部隊の指揮官をしていた時、官舎で就寝中、深夜に右手首に激痛があり、その後は痛みに堪えながら朝を迎え、朝食もそこそこに出動した。近くの自衛隊病院に向かい、右手首の痛みは週末のゴルフで思い切り芝生を叩いた(ダフった)記憶があったことからその影響により手首が腱鞘炎になったのだろつと自分勝手に判断して整形外科を受診した。医者の指示により手首のレントゲン撮影等を受け、念のために血液検査も行った。診断の結果は、腱鞘炎ではなく痛風だと言われた。思わず「先生、痛風は手足の先などに発症するのではないのですか」と尋ねたところ手足の先だけでなく関節にも発症しますよと告げられた。確かに血液検査結果では尿酸値が異常に高くなっていた。早速、血液中の尿酸値を下げる薬を処方され、それ以降現在に至るまで十数年間毎日服用している。当初は尿酸値が高くないような食事療法も考慮したが、別の会合で一緒になった病院長に相談したところ「松岡さん今更食事療法は無理でしょう。今は良い薬がありますからうまく薬と付き合ってください」と言われ現在に至っている。



私は若い時からとにかく身体を動かすことが好きで、現職当時は課業終了後に基地の外柵を走ったりして汗を流すのを趣味にしていたが、その間水分は一切取らずに我慢し、帰宅後、風呂上りのビールで喉を潤すのが至福のひと時でもあった。今は熱中症を防止するため高校野球やサッカーの試合でも途中で水分補給するのが当たり前になっているが、私の少年時代にはそつした健康面での

配慮は一切なかった。そのため、私は年を重ねても汗を流した後に水分補給をする習慣がなく、そうした生活を何十年も続けてきた結果として血中の尿酸値が高くなってしまったと思っっている。それでも高尿酸血症発症後は、努めてプリン体の高い食物は避けるようにし、中でも好きなビールはなるべく飲まないようにしてきた

が、会合時の宴席などで「飲み物はどうしますか」と聞かれると「取り敢えずビール」と答えてしまう自分を反省している。

幸い、退官後も重い病気を患うこともなく、息災に暮らせており、頑強な身体に生み育ててくれた両親に感謝している。それでも年齢七十を過ぎると趣味の下手なゴルフや家庭菜園で汗を流した時には当日だけでなく、翌日にも疲れが残るようになり、つくづく加齢による体力の低下を実感させられるようになってきているのが現実である。現在も高尿酸症の薬の処方箋をもらう必要があることから、二ヶ月に一度かかりつけ医のクリニックに受診し、半年毎に血液検査を受けている。その際、七十歳を過ぎて他に異常のない私の検査結果を見ながら医者から褒められると、つい自分は健康を維持できているのだと自己満足していた。しかし、今回の同期生の「脳梗塞は突然に」の事案を教訓にして、今後とも規則正しい生活と適度な運動に努め、万が一の時に見放されることのないよう家内を大切に過ごしたいと思うこの頃である。

【痛風の原因となるほとんどは】



年齢に相応する体力低下の受け入れ

泉本部 監事役 寺田信夫



ジシマしたがなんともなりません。

それから、毎日試めしましたがとにかくで上がらないのです。さすがにシヨックでした。前に懸垂をしたのは2年ほど前でした。体重が減っているので、懸垂の1回位はなんとかと思っただけですが、それ以上に筋肉が減ってしまったのです。

4月の半ば、年甲斐もなく、体力低下を少しでも食い止めるため、階段上り、腕立て、懸垂等にチャレンジしたため、少し筋肉痛でした。昼と夜の温度差が大きい時期でした。

夜中に汗をかき、喉を痛めてしまいました。喉が不調な場合、ここ数年の習慣として、「葛根湯」を飲み、調子を維持していました。今回も直ぐに回復するだろうと高を括っていました。

しかし、痰が増加し、5年ぶりに本格的な風邪となり。熱も37.4℃まで上がり、市販の風邪薬もあまり効果がありません。久しぶりに食欲もなく、酒も飲めませんでした。そのうち、妻に感染してしまいました。私は別の理由で病院処方されていた抗生物質を服用するとともに、喉ヌールで炎症を押さえ、熱も下がり、ほぼ回復しました。しかし、妻の方が大変でした。

妻はリュウマチ・乾湿肺炎の過去があり風邪に弱いのです。

そこで、医者の治療を受けさせるべく発熱外来を探しました。「コロナ」の危険性がある限り、直ぐに治療を受けることはできません。

一般の患者と区別した時間と場所を指定する方式の「発熱外来」での予約が必要なのです。

いろんな発熱外来にアクセスしましたが中々うまくいかず、2日経過し、妻が腕を骨折した時にお世話になった中規模の病院に予約できました。

指定され時間に一般の患者と区分された場所に案内され、PCR検査を受けました。PCR検査で陰性となり、やっと一人とも、もコロナ患者疑いから解放され、妻は細菌を抑える抗生物質を投与され、逐次、回復しました。

今回の教訓ですが、コロナも下火となり、2類からインフルエンザ等と同じような5類に分類されました。しかし、一般の病院に明確なコロナの治療薬がない限り、今回私たちが受けたような発熱外来的な扱いを受けることになるのです。

5月になり、気候が安定し、私は、4月後半の体調低下を反省し、散歩の途中でも深呼吸を繰り返して新鮮な空気を取り込み体力回復に努めています。年に抗い、急激な負荷をかけることは取りやめ、緩やかな運動で、体力低下を少しずつ受け入れていくこととしました。

皆さん、無理をせず、体力低下防止に努めましょう。



発熱のかぜ症状がある患者さんへ
直接 受診されないよう
病院に入る前にお電話ください!
0977-23-3121



病息災



東京湾のアジ釣り

顧問 濱野 靖



東京湾に面する横浜沿岸部に移り住んで四十五年、東京湾との関わりの中に、アジ釣りがあつた。防波堤や護岸からの小アジ釣りに加え釣船による大アジ釣りを楽しんだ。

アジ釣りの基本は、アジが遊泳する海底近くに撒き餌をしてアジの群れを誘い、付けエサを食わせる方法である。以下防波堤等からの二種類の釣り方、釣船による二種類の釣り方を紹介したい。まず、防波堤等からの釣りでは、長めの竿先の真下を狙う釣り方がある。六〜八本の小さな針の付いた仕掛けを解凍したアミエビのブロックの中を通すと、針にアミエビが刺さるので、これを防波堤等前の海面下数メートルの小アジの遊泳層に静かに降ろす。針に刺さったアミエビがコマセとなり付餌になる。小アジの群れは、梅雨頃から秋にかけて早朝や夕方に防波堤近くに回遊してくるので、その時期を見計らって釣り始める。一度に数匹釣れることもあり、全然ダメな時もある。時には小イワシが混じることもある。

防波堤等におけるもう一つの釣り方は、防波堤等から十〜二十メートル沖に仕掛けを投げ込む方法である。ウキを使ってアジの遊泳層に餌を付けた針が来るように仕掛けとアジを寄せためアミコマセ用の器具または網袋を天秤にセットして投げ込む。仕掛けはアジの遊泳層に近くに沈み、撒き餌がまかれる。アジが針掛かりするとウキがスート海中に沈むので、釣れたことを知らせてくれ

る。この釣りでは、二十センチ程の中アジが中心に釣れる。

現在は、防波堤の立ち入り制限や防災用に護岸の嵩上げが行われ、近くの海岸では限られた場所ですしかこの釣りはできなくなつた。

次に釣船によるアジ釣りでは、女性や子供が気軽に釣行できるライト（LT）アジ釣りがあつた。午前十と午後の半日釣りが選択でき、仕掛けや竿は軽く気軽に釣行できる。この釣りはピシ（錘と撒き餌となるイワシのミンチを入れるかごが一体になつている）と二〜三メートルのテグスに針二〜三本をセットした仕掛けを使う。撒き餌はイワシのミンチ、付けエサは、スルメイカの身をタンザク切りして食紅で染めた赤単または青イソメを使う。釣船は、水深十五〜三十メートル。時には、三十センチほどの大アジから十センチ程の豆アジが釣れる。通常は二十センチ前後の中アジが多い。（写真） 外道に大サバ、クロダイ、イシモチ等が釣れる。



LT アジ釣果中



大アジ

LTアジの釣船は、年中出船している。

本格的な大アジ狙いの釣船では、水深五十メートル前後と深場を狙う。仕掛けや撒き餌、付けエサはLTアジとほぼ同じだが、ピシも大きく重くなるので、電動リールを使う。大アジが釣れると、竿を持つ手に重く魚の引きが伝わってくる。アジ

の口が弱いので手巻きまたは電動で道糸をゆくり巻き上げる。最後の取り込みには、タモ網を使うことが多い。この釣りで、大サバや真鯛が外道として釣れることもある。

傘寿を過ぎた私にとって、四十年親しんだ大アジ釣りは体力的に大変となつてきたので、三年前からLTアジ釣りに変更し、月一で釣行している。できれば今年の春完成した近くの護岸の遊歩道からのアジ釣りを期待したい。釣行後、新鮮なアジ料理を満喫できる楽しみを目標に体が動く限り、続けたいと心に決めていゝ。

（陸、金沢区）



スクランブル

元理事役 入江哲二



三十八年間の自衛隊生活の3分の2を海自幹部として過ごした。候補生学校（幹候校）では部内課程160人（40人4個分隊）でした。前期・後期で約半数の人が室長から消火器係まで役員に就くことになる。率先

して自分をアピールして手を挙げる。前期後期でダブル人もいる、ほぼ全員が当たることになる計算だが、一度も手を挙げなかったのが私1人、さすがに室長には誰も手を上げない。前期の室長が指名するように分隊長から指示があり、突然に私に決まった。スクランブルのはじまりである。

卒業後補給幹部として数年経過し厚木基地隊補給隊に配属、語学の成績が悪くてP-3C受け入れの為に米国への研修はなしで、受け取り要員として厚木に残る。P-3Cが

厚木に配置されて我が補給隊は100名を超える大所帯となった。中でも1尉以上が隊長を除いて6名(私が一番下)いたが、事務官の席を除く班長席は4席しかなく、私は「最大非番」のはずだが、3年半の期間で班長・班員と5回の配置換えさせられた。一番短い班長は会計検査受検時の3か月の管制班長だった。何かある都度配置換えさせられたのである。



P-3C

基地隊勤務を終え、下駄履き転勤で51空資材班長へ、赴任した1週間後横監の特定監査、1か月後海幕の特定監査を受ける事になっていた。陰謀か?・前任に2人の幹部がいたが準備がなされていなかった。1週間でつじつまをあわせて受検した。下総から厚木に移転してごたごたがあったからな!

同じような事があった自衛隊勤務、定年後、2つの就職も無難に終えて暇になって十年余り、厚木基地内に補給業務を委託する民間企業がたちあがった。自衛隊OBで航空部品を扱う「部品センター?」が整備隊の中にでき、全員が元航空機整備

員で編成されていた。補給出身の者がいない、急遽私のところに「半年でもよいから軌道に乗るまで手伝ってくれ!」と言ってきた。当時隊友会本部に週2・3日出ていたので週1日は休んでも良い・という条件で引き受けた。半年で終わつた。その後数年して今度は基地厚生隊のやはり民間委託の「官舎係員」が「体調が悪いのでその時来てくれないか」とのこと、これも半年くらいやつたかな。

神奈川県隊友会本部は平成14年には陸自横浜基地に間借り(と言っても階段の踊り場)して事務をしていた、事務局長が忙しくしていたので「少し手伝いましょうか!」と言ったのがはじまりで20年近く手伝っている。素人の私が事務をCP化したのでトラブルが絶えない、その都度足を運んで対処している現状です。



二・三例を書いたがこんな事は随分あったように思う。話は変わるが、父は明治23年の生まれで中3の時に亡くなった。「接ぎ木」が上手だった。要望があれば遠くまで出かけていた。報酬は受け取らなかつたようで、21歳年下の母がいつも愚痴を言っていたのを思い出す。他人が喜んでくれることが報酬に値するのか、私も親父似なのか! 拙い私ごときを頼ってきてくれることは嬉しいことだ。私はスクランブルが性分だったのかな! いいじゃないか、残り少ない人生今更方針(性格)を変えるつもりはない。

注:最大非番 当直(11)では班長)につく順番が最も遅いこと



好き嫌いの話

西湘支部 廣井 淳



食へ物をはじめとしてどなたも好き嫌いはあると思います。落語の「饅頭怖い」ではこの世に生まれた時にお母さんから出るえな(胎盤)を埋めた所を最初に通った物が恐く(嫌いに)なると言っています。蛇とか犬が恐い、嫌いな人は説明がつかず人參が嫌いとか魚が嫌いとかは何が通ったのでしょうか。

なぜ饅頭が恐いかについては落語を聞いていただくとして、私は子供の頃梅干し、ニンジン、豚肉の脂身が食べられませんでした。夕食がカレーの時はうれいのですが人參や豚肉を残すのはダメ。母は若いころ北京の北支派遣軍司令部に勤務していた陸軍軍属なので厳しく、豚の脂身が嫌いなのでせめてひき肉にしてほしいと懇願しましたが却下。

またある日たくさん置いてあった海苔をまいたお握りを(つまみ食いで)半分食いついたら中身は梅干しで「オエー」と吐き出してしまいました。嫌いなものはこのくらいなので給食を食べられたのでなんとか暮らしていました。

昭和四十五年三月に海上自衛隊舞鶴教育隊に入隊しました。私は横浜在住でしたが当時は関東地方からも舞鶴に入隊していました。もう五十三年も前なので国民全体の生活レベルも今ほど高くなかったのですが教育隊の食事はまあまあでした。ただし人參等嫌いなものも出るし参ったなーと思いましたが、教務や訓練でお腹がすくのであれば嫌いだとか言ってもらえず前記の食品は好きにな

りました。実弾射撃や行軍の時はアルミの弁当箱で(絶滅危惧種)弁当を作ってくれるので作業員を出して詰めていました。ご飯の真ん中に大きな梅干しが入っていました。なんとこれが楽しみになりました。あまり好きでなかったピーマンも大好きになりました。



私の家に姪っ子二人が小学生から高校生の間、同居していました。最近若い人の魚離れがあり子供が「目がこっち見てる」「骨がある」とかの理由で魚を食べないとか。漁港がある真鶴生まれの二人は魚をよく食べていました。小さい時から食べていけばそんなものかもしれません。二人ともウナギが大好きなのである日写真を見せて「ほら、ウナギってこんな顔して歯をむき出しているんだよ」と話しましたがおいしいということに先に経験しているので全く平気でした。アナゴも同様です。

最近テレビ番組で陸海空自衛隊の訓練や食事の特集が組まれることがあります。省は五十二年十月二十五日予備自衛官の訓練招集の乗艦実習で護衛艦いすずに乗った時の昼食の写真をご覧下さい。(写真を反対から撮っています。スープの左スバゲティミートソース時計回りにサラダ、ごはん、目玉焼き、とりもも、バナナ、ヤクルトショアもあります。)



護衛艦 いすず



いすず 昼食

西湘支部だより

一 去る、五月二十八日午前一時〇〇分から午後〇時〇分まで小田原市市民交流センター「ウメコ」で西湘支部の総会を実施しました。支部会員数は四六ですが、出席者は五名で欠席の回答者三〇名でしたが各議題への同意者は三〇名で総会は成立しました。未回答者は一名でした。

総会終了後、総会を行った部屋と隣接する部屋で自衛隊家族会小田原地区会と合同で来賓の方を含む二名で意見交換会(懇親会)を行い、大いに盛り上がりながら終了しました。

二 本年四月末で正会員の

- 菊島 信洋さん
- 川崎 仁さん
- 瀬戸 照さん
- 藤田 剛さん

特別会員の

- 木村 正彦さん

の五名の会員が退会しました。

本年五月に陸上自衛隊健康軍駐屯地で退官され御殿場市に居住する又木徹司さんが入会されました。

また、昨年八月に陸上自衛隊富士学校で退官され開成町に居住する野口正人さんが

昨年十月に海上自衛隊厚木航空基地で退官され山北町に居住する瀬戸雅輝さんが入会されております。

昨年の七月に長い間、西湘支部の事務局長をしておりました小川 敏昭さんが逝去されました。



編集後記

令和5年も早いもので半年が過ぎました。3月のWBCにおける侍ジャパンのドラマチックな優勝は日本中を沸かせ国民の気持ちを一つに纏めるのに大いに貢献したものであり素晴らしいイベントでありました。準決勝、決勝の映像を見る度に未だに新鮮な感動を覚えます。

5月には新型コロナウイルスが感染症2類から5類へと分類され、感染症対策も緩和されコロナ前の生活に戻りつつあり喜ばしいことです。が、今なおコロナ感染者が存在することから個人々人は感染症に対し全面的に気を緩めることなく基本的な手洗いうがいは継続し自分の身は自分で守りましょう。

ロシア軍のウクライナ侵攻から間もなく一年半になろうとしておりますが事態は益々エスカレートしておりロシア軍のルール無視のなりふり構わない非人道的な所業には世界の多くの人が憤慨しており今更ながら戦争というものの悲惨さを感じております。

我が国の国防予算が大幅に増加されましたがそれだけで国が守れるわけではありません。最も大切なのはウクライナ国民が示すような自国は自ら守るといふ強い意思と覚悟でありましょう。

皆様のご協力により無事かわら版48号を発刊することが出来ました。ご投稿いただいた皆様に感謝申し上げます。引き続き皆様からの原稿の投稿をお待ちしております。特に、西湘支部の方からの投稿をお待ちしています。

県事務局 小島

県隊友会事務局 電話 045-212-4686
FAX 045-305-3595
E-mail taiyu-kanagawa@nifty.com

